

聖書通読一日一問

月 日 ヨハネの福音書4：27-38
問題：イエス様の食べ物はどうなもの(こと)ですか。

答え：

月 日 士師記4章
問題：バラクは女預言者デボラを信頼していました。彼は彼女にどのような願いをしましたか。

答え：

月 日 ヨハネの福音書4：39-54
問題：あなたの今日の歩みのために、どのようなことが教えられるですか。

答え：

月 日 士師記5章
問題：デボラは何年間イスラエルを治めましたか。

答え：

月 日 ヨハネの福音書5：1-18
問題：イエス様は天の父なる神を自分の父と呼ばれましたか。

答え：

月 日 士師記6章
問題：神様はイスラエルを救うためにギデオンを選びました。しかし、彼はその選を不安に思っていました。主はどのようなしるしをギデオンに見せてくださいましたか。

答え：

月 日 ヨハネの福音書5：19-29
問題：私のこの言葉を聞いて、私を遣わした方を()者は、()のいのちを持ち、さばきに会うことなく、()から()に移っているのです。

いのちのことは社の一日一問を参考にしています。

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。ローマ人への手紙2:15

人は誰にでも、嬉しい時や悲しい時、また寂しい時があると思います。その時あなたは、誰とその気持ちを分かち合っていますか。人の喜びをねたまず、悲しんでいる人に安易な気休めを言わず、寂しい時には、あなたのそばに立って、一緒に笑い、一緒に泣き、無理なアドバイスするよりは、ただあなたの話を聞いてくれる友。あなたにはそのような友がいますか。私にはいます。その友はイエスキリストです。イエス・キリストの語ったことばに、次のようなことばがあります。すべて、**疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。** マタイの福音書11章28節

この世の中、疲れた人や重荷を負っている人と一緒にいたいという人は、どれぐらいいるでしょうか？しかし、イエスさまは、疲れた私に、重荷を負っていた私に、心に憤りをもって悩んでいた私に、障害を持ち苦しんでいた私に手をさし伸ばされる友でした。あなたも、イエスキリストと友になってみませんか。

礼拝のご案内

日曜礼拝(日曜日)

11:00~12:00

水曜礼拝(祈り会)休

11:00~12:00

金曜日礼拝(祈り会)

20:00~21:00

2022年 3月5日

418

聖書キリスト教会

伊勢崎聖書キリスト教会



〒372-0855
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4
TEL/FAX 0270-55-3177
japanese0691@gmail.com

かん よんろく
牧師 姜 永禄

礼拝の順序

司会：姜 永禄
説教：姜 永禄

賛美&祈り アルニオン賛美チーム

招 詩 詩篇 121 篇

新 聖 歌 298

主の祈り

聖 書 ヨハネの福音書 3：16 - 17

説 教 「御子によって」

聖 餐 式

讚 美 歌 461

献金祈禱 説教者

祝 禱 説教者

報 告

敬称略

献金は自由献金です。

詩篇 121 篇

私は 山に向かって目を上げる。
 私の 助けはどこから来るのか。
 私の 助けは主から来る。
 天地を造られたお方から。
 主は あなたの足をよろけさせず
 あなたを守る方はまどろむこともない。
 見よ イスラエルを守る方は
 まどろむこともなく眠ることもない。
 主は あなたを守る方。
 主は あなたの右手をおおう陰。
 昼も 日があなたを打つことはなく
 夜も 月があなたを打つことはない。
 主は すべてのわざわいから
 あなたを守り
 あなたのたましいを守られる。
 主は あなたを行くにも帰るにも
 今よりとこしえまでも守られる。

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わせず悪より救いいたしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。

報告&お知らせ

- 1、本日、はじめていらっしゃった方々を心から歓迎いたします。
- 2、コロナの拡散を防ぐ対策として、礼拝は教会とオンラインで同時に行います。
- 3、2月22日(水)～4月8日(土)四旬節(レント)の期間。
- 3、本日、聖餐式があります。

祈りの課題

- 1 教会に属している方々が、御言葉と賛美と祈りの中で、主と深く交わり、愛の人となりますように。
- 2 教会に属している方々の健康と安全、平安が、主の御手により守られますように。
- 3 水曜・金曜礼拝(祈り会)に主の大きな御業を見ることができるよう。
- 4 全世界の教会が安心して礼拝の恵みにあずかることが出来るように。

